

6 月度 例会 山行報告書		報告者	田中	参加 メンバー	CL 森下 岸上、大矢(朋)、鈴木み、田中 OB: 松浦
個人		報告日	24/6/13		
山域	乗鞍岳	山行日	24/6/1		
山名	乗鞍岳				
山行目的	春の乗鞍岳を体験する		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会: 12
山行: 1
リガー
原紙: 集会担当者



〈山行報告〉

乗鞍高原に着いたのは8:00頃。既に登山者やBCの人たちで賑わっている。乗鞍岳へは5月になると乗鞍高原からバスが出るようになり、5/31には肩の小屋まで行けるようになる。我々の当初の予定では、肩の小屋からでは登った感が出ないということでバスで位ヶ原山荘まで行きそこがスタート地点になるはずだった。8:30発のバスに乗り込みしばらくしたら位ヶ原山荘に着く、がどうやらこちらからアナウンスしないと降ろしてくれないらしく、そうとも知らず肩の小屋までバスで行ってしまった。想定外に時間を巻いてしまったが、これはこれでハイキング気分を楽しもうということで気を取り直して、剣ヶ峰まで目指す。登山道の状況としては雪は若干残っているが場所によってはほぼ夏道になっている。雪はあまりぐずついておらず、比較的歩きやすかったと思う。雪がある箇所を進んで夏道から巻いていこうとしたが、ハイマツに露出して中々うまく進めなかった。稜線にでるともう雪は無く、完全に夏道。3000m近いところなので、いつもよりやや息苦しいが、やはり森林限界を超えたこの絶景を見ながらの登山は辛さよりも楽しいが勝る。進行方向右手に見えた権現池は周りに雪が積もってとても綺麗だった。山頂到着は11:00。少し降りたところのベンチで大休止した。バスの時間までそこそこあるので、富士見岳まで行くことになった。その後、想定外のトラブルで肩の小屋発のバスを見送ってしまったため、位ヶ原山荘まで徒歩で向かう。登山道は木が生い茂っていたり、踏み抜きがあったりと中々スリリングであったが楽しかった。位ヶ原山荘でバスを待つ間、うどんを食べたり、山小屋グッズを見たり、三本滝まで向かったり(注: 岸上さんのみ)とゆったりと過ごした。眺望もよくて楽しかったため、また違う季節に訪れたいと思いました。

確認
(リガー)
森下

作成
(報告者)
田中
24.06.12

雪渓前から登山開始し、剣ヶ峰登頂後、畳平方面へ縦走し、富士見岳登頂し下山。厳冬期とは違い雪がだいぶ解けてきており、雪・ハイマツ・夏道とバリエーションに富んだルートをたどり、想定以上に時間をかけ登頂した。大雪渓前までバスで来たのは結果オーライでした。残雪期のルートファインディングの難しさ、時間管理の難しさを実感した。



